

大河信濃

第108号

発行日
令和2年10月

発行
新潟県立長岡農業高等学校
PTA広報委員会

〒940-1198
長岡市曲新町3-13-1
TEL(0258)37-2266

(題字:3年 千野 葵心)



獣王武迅



海山無双



飛龍乗雲



勇猛果敢



PTA会長
高林直美



転換期

校長 早川勝志

今年度、PTA会長を務めさせていたただいております高林です。PTA会員の皆様には、日頃よりPTA活動へのご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

長男の入学を機にPTA活動に参加させていただきました。二年半の活動を通じ、多くの役員の方々や先生方と楽しい時間を過ごすことで、PTA活動の素晴らしさを改めて認識いたしております。

本来であれば、PTA総会で、前年度会長からバトンを引き継ぎ、新たな気持ちで役員活動を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、今まで出来ていたことが出来なくなるなど厳しい現実と直面することとなってしまい、誠に残念な気持ちです。

学校生活も同様ですが、逆境の中でも日々、子ども達は自分の可能な限り学校生活を充実させようと頑張っており、そんな姿に親としても誇らしく成長の成果を感じます。

また、制限された中で学校の学校生活を送れるよう準備・運営していただきました先生方には本当に感謝いたします。今年度の体育祭が無事に開催することができ、子ども達も思い出を作ることが出来たと思います。学校行事同様、PTA活動も限られた状況での開催となっておりますが、楽しく気軽に参加できるPTA活動でありたいと思っております。

最後に、前年度PTA会長 水落由美子さんが、北信越高等学校PTA連合会研究大会にて発表され表彰されましたことをご報告させていただきます。そして、今年度も長岡農業高校のPTAが発展していくことを祈念されておりましたことを申し添えます。

PTAの皆様、四月に着任した校長の早川です。父の母校に赴任し身の引き締まる思いです。コロナ禍の最中、異例のスタートとなった令和二年度も何とか半分まで来ました。これまで生活には休業や行事中止で無理をさせ、皆様にも御心配をおかけしていることをお詫言います。

本校は生産から加工・販売まで行う農業高校です。生産物の販売や行事等の諸活動等の実施は教育活動の一環として不可欠と考えています。先日は、保護者参観謝絶で半日ながらも体育祭を実施しました。十月末には長農祭も予定していますが、恐縮ながら来場制限をかせさせていただきます。修学旅行については、沖繩行きは中止しました。代替案は近日中にお示しします。安全に配慮しつつ、農業高校生として必要な力を育てていきたいと考えていますので、何卒御理解をお願いします。

ところで現在学校現場は、コロナ対応を端緒として、大きな変化を遂げつつあります。その変化の第一は、教育のICT化です。本校でも、年度内に普通教室への電子黒板設置、生徒三名に一台のタブレット端末配備がなされ、各教室のWiFi環境も整います。

第二の変化は、本校の学級減です。本県では、中長期高校再編整備計画に基づき高校再編が進められています。令和三年度の本校募集学級は、一学級減の三学級となりますが、学級減は単年度措置で、翌四年度には再び四学級募集になります。なお、三学級募集学年含め、三年度以降も、現在の八コース制は維持し、教育体制の根幹は変更しません。

第三は、令和四年度からの新学習指導要領の完全実施です。先行実施部分もあり、「主体的対話的「協働」等、具体的な授業手法が示され、戦後教育を大きく転換させる内容です。本校でも、新教育課程の準備をしています。

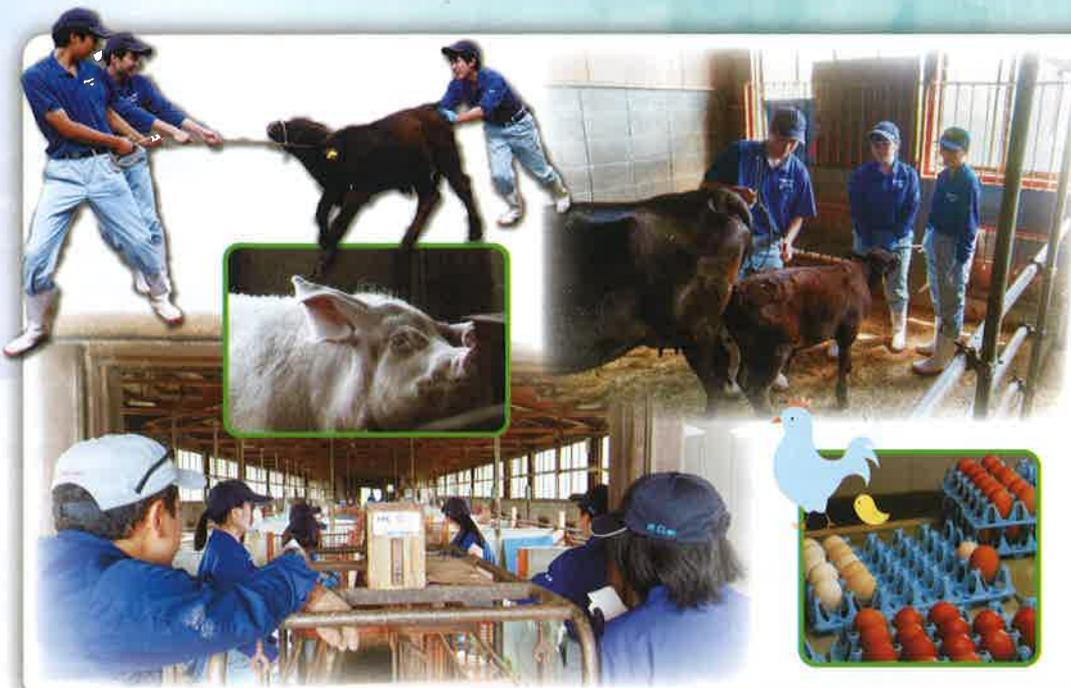
第四は、大学入試改革です。大学入学共通テストが始まり、AO入試は「総合型選抜」、推薦入試は「学校型選抜」になりました。本校では、生徒に不利益が及ばないよう万全の支援をさせていただきます。

私は、「中庸」であることが大切だ、と思っています。特に農業教育は然りです。作物が実り、家畜が育ち、美味しい食品を作るにも、必要な時間と手間が要るのです。これからも長岡農業高校は、大地に足をつけ、地域に根ざした農業教育に取り組んでいくつもりです。どうか、御理解と御支援を賜りますようお願いいたします。

動物科学 コース

8月に行われたプロジェクト発表県大会に養豚専攻および肉牛専攻が出場したので、春休みから休校期間も含め、そのための準備が活動の中心でした。その間に牛4回、豚3回の分娩があり、看護実習に取り組みました。科学的研究と現場実習の両方を追究しています。

・情熱卵販売 木曜 14:35～



生活デザイン コース

生活デザインコースの3年生の課題研究では、収穫時期に収量が集中してしまう夏野菜の保存方法や利用方法の研究、また栽培した花などを利用したクラフト作りや草木染めに挑戦しています。2年生は各種野菜やハーブの利用、ドライフラワーや自然素材を利用したリース作りなどに取り組んでいます。家庭科食物調理技術検定も取得しました。



地域デザイン コース

地域デザインコースでは、3年前より荒れ放題になっていた中庭のリフォームを始めました。

本年度は3号館側を芝生の広がる空間にするために、ドウナンツツジの移植作業、コウライシバの芝張り作業及び管理作業を中心とした実習に取り組んでいます。





高島農場



鷺巣農場

新潟県立長岡農業高校

8つのコース

今年の取り組み状況



園芸科学 コース

園芸科学コースでは、草花分野で花壇苗作りや切花・鉢花の生産から販売までの実習を行い栽培技術を身に付けています。バイオ分野では、茎や葉など植物の一部培地に培養し、増殖する技術を学んでいます。3年生の専攻生では、各自テーマを決めて各種植物の培養実験に取り組んでいます。

食品加工 コース

1学期中に予定されていたイベント等の販売が全て中止となり、そのため売り上げが大幅減となりました。

現在は、長農祭に向けて酒まんやビスケットを製造しています。

また3年の課題研究では、ワインの仕込みを行い、その様子がTVで放映されるなど活躍しています。



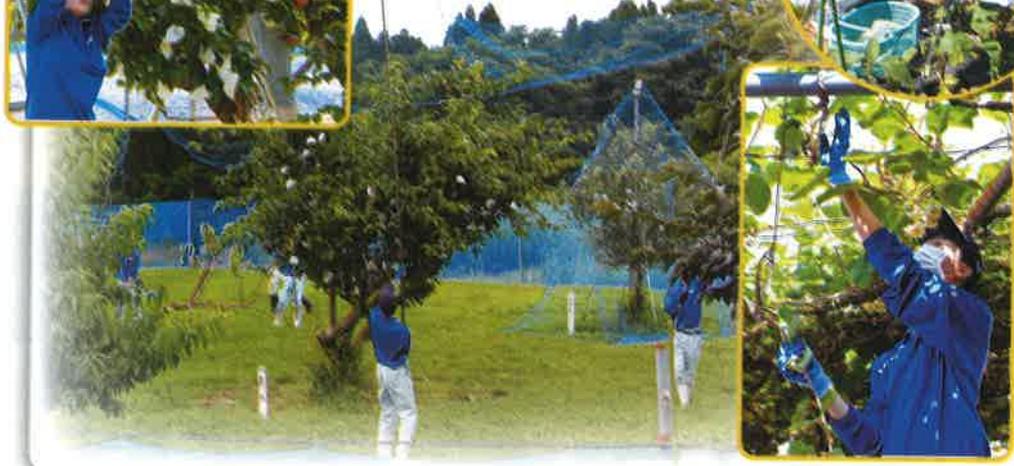
作物生産 コース

コロナ休校となった4月は苗おこしの大切な時期でした。普通科や他コースの先生が苗の準備をしてくださいました。その苗で1年生はバケツに植え、2、3年生は栽培や研究ができました。3年生の課題研究ではマガモ栽培、米麴用米栽培、栄養コースが仕込む酒米の酒粕栽培、米醤油米栽培を行いました。



青果生産 コース

現在、野菜部門では各種夏野菜を、果樹部門ではブドウやナシを収穫し、販売しています。これまで地道に粘り強く管理作業を行ってきた成果を実感しています。しかし、並行して秋冬野菜の作付があり、間もなく柿の樹上脱波も…。時期を逃さない作業が多く雨の日も猛暑の日も野外で頑張ります。



栄養化学 コース

課題研究では、効率よいタンパク質の摂取方法について研究を行っています。農業クラブプロジェクト発表会県大会では、『元気100倍 プロテインバー！～効率よいタンパク質摂取方法の研究～』と題し、4名の生徒が研究発表し、最優秀賞を受賞しました。また、地元企業と連携し、おからを用いた味噌醸造の研究や醤油と醤油麴を用いた新しい加工品の開発にも取り組んでいます。





新型コロナウイルスの取り組み

本校では、次亜塩素酸ナトリウム（ハイター）、アルコール製剤（消毒用エタノール濃度 70%）、次亜塩素酸水 2,000ppm（100～200ppm に調整して使用）を常備しています。

また、職員玄関には非接触型検温器を設置し、生徒玄関、職員玄関、トイレ前、各HR教室等各所に手指消毒剤（ポンプ式）を配備してあります。



入学式

新年度となり、4月7日の始業式・入学式より教育活動を再開いたしました。しかし、国内外において感染が拡大し終息が見通せないことから、4月15日から5月6日まで、臨時休業となりました。その後も、臨時休業期間は延長に延長を重ねざるを得ない状況が続きました。その間、課題の郵送や、分散登校による臨時登校日を設け、課題の回収・配布、生徒の健康確認、個別面談等を行いました。

職員による種まき



6月1日から時差通学を行いながら、授業を再開することとなり、平常の校時表に戻し授業を行ったのは6月15日でした。学校行事等の実施については、中止や変更、延期などをして対応してきました。部活動においては6月8日から再開しましたが、時間や活動内容の制約のなかの活動となり、現在でも練習試合や大会参加の制限がかかっています。

今でも毎日、ニュース等で感染状況が伝えられています。学校では、「新しい生活様式」を踏まえ今後も対応してまいります。感染が広がらないようご家庭におきましても取り組みにご協力いただきますよう、お願いいたします。

臨時登校



合格者オリエンテーション



中学生1日体験入学

8月6日の猛暑の中、中学生1日体験入学を実施しました。希望する中学校は可能な限り受け入れ、人数制限、マスク着用、アルコール消毒、受付時の体温計測、移動のバスは2席1名など、実習体験時も適切な間隔をあげる等、新型コロナウイルス感染症に対して、様々なことに配慮して実施しました。在校生もしっかりと中学生に指導をしていました。

中学生
一日体験入学
新潟県立長岡農業高等学校



稲刈り



